

農地マネジメントの推進

要約

農業従事者の高齢化と後継者不足により、集落機能の低下、耕作放棄地増加に繋がり、地域農業の継続が困難になりつつある。そこで、農地中間管理事業を活用し、意欲ある担い手へ優良な農地を集積を進め、耕作放棄地の発生を抑えること、また、新たな担い手として集落営農組織を育成し、農地の集積を進め地域農を安定して維持していく体制の構築を目指す。

現状(背景)と課題

農業従事者の高齢化と後継者不足により、担い手不足が深刻化し、集落機能の低下や、耕作放棄地が増加傾向にある。そこで、耕作放棄地の発生低減に向け、農地中間管理事業の活用と担い手となる集落営農組織の育成を軸に取り組む。

目標

- ・農地中間管理事業マッチング面積 12.0ha
- ・集落営農組織化、法人化支援 各1組織
- ・高収益作物の推進
出荷額300万円、新規取組数4

活動内容

- ① 農地中間管理事業の推進
 - ・市町村、農業委員会、奈良担い手・農地サポートセンターと農地マネジメントチーム活動を実施。
 - ・人・農地プランの地元懇談会、管内で集落営農を目指す地区での講習会において農地中間管理事業について説明。
- ② 集落営農組織への支援
 - ・集落営農を目指す集落において営農組合設立に向けた支援を実施。
 - ・任意組織である集落営農組合の法人化に向けた支援を実施。
 - ・集落営農組織の経営安定に向けた高収益作物導入・定着への支援を実施。

成果

- ① 農地中間管理事業の推進
 - ・農地中間管理事業による新規集積面積 21.5ha
- ② 集落営農組織への支援
 - ・集落営農組合の設立 1組織（六倉集落営農組合：五條市六倉町）
 - ・集落営農組合法人化 1組織の法人化に向け支援（丹生の里営農組合：五條市丹原町）
 - ・高収益作物の導入・定着 3品目（スイートコーンのトンネル早出し、青ネギ、極早生タマネギ）



スイートコーンの早出し栽培（写真奥）
と普通栽培（写真手前）



青ネギ栽培
丹生の里での高収益作物推進状況



極早生タマネギ栽培

南部農林振興事務所農業振興課
担当：担い手・農地マネジメント係
小走・森本・厚見
農地中間管理事業
集落営農活性化プロジェクト促進事業

普及活動のポイント

① 農地中間管理事業の推進

- ・農地マネジメントチーム会議では、関係機関で農地利用状況や地域内の担い手などの情報交換により、意欲ある担い手への農地集積につながる活動に努めた。
- ・人・農地プランの地元懇談会、管内で集落営農を目指す地区での講習会において農地中間管理事業について説明することで制度の理解が進むよう努めた。

② 集落営農組織への支援

- ・集落営農の組織化支援については長期視点で地域農業のあり方を考えながら組織作りをするよう働きかけた。
- ・高収益作物の導入については、集落営農組織に対し継続的に生産指導を実施し、安定した収益確保ができるよう支援を行った。

対象の変化

- ・農地マネジメントチーム会議により関係機関の情報共有が図られた。
- ・集落営農の取組について共同作業を行うことで、地域農業の継続に向けた意識の共有が醸成された。

対象者からのコメント

- ・個別任せでなく、農業者が力を合わせながら地元農業を維持していくことが大事。営農組合を維持していくには収益の安定確保も大事なので、継続的な支援を願う。

これからの活動ビジョン

- ・農地の借り受け希望者の意向と出し手農地の把握に努め、担い手への農地集積を引き続き進める。
- ・新たに設立された組織の運営、法人化へステップアップを目指す組織への支援を継続して実施。
- ・集落営農を目指す集落に対して、講習会の開催や情報提供を行い組織化への支援を実施。

活動体制

